

## 2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 1 月 26 日作成)

小委員会名	鋼構造座屈小委員会		主 査 名：竹内 徹 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 鋼構造運営委員会		委員長名：中島正愛 主 査 名：緑川光正
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	『鋼構造座屈設計指針』2009 年改定後の検討テーマの抽出および研究成果の PD 等を通じての公表，さらに内外の意見を反映した上で出版物としての取り纏め。 2009年度：指針改定に伴う講習会の実施および内容の再レビューを行い，検討すべき座屈設計に関するテーマの絞り込みを行う。 2010年度：各テーマごとの具体的な調査・研究を実施し，委員会内での意見交換を通じ修正，充実させる。 2011年度：取り纏めた資料・提案を大会PDで公表し，内外の意見を問う。 2012年度：意見を反映させた資料・提案を出版物『鋼構造物の座屈に関する諸問題2013』として執筆・編集・出版を行う。		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	主査：竹内徹（東京工業大学） 幹事：五十嵐規矩夫（東京工業大学） 委員：多田元英（大阪大学）・荒木慶一（京都大学）・井戸田秀樹（名古屋工業大学）・金尾伊織（京都工芸繊維大学）・木村祥裕（東北大学）・田川浩（名古屋大学）・藤本益美（大阪市立大学）・小崎均（日建ハウジング）・宇佐美徹（竹中工務店）		
設置 WG (WG 名：目的)			
2012 年度予算	400,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aj.or.jp/kouzou/s15/">http://news-sv.aj.or.jp/kouzou/s15/</a>	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 『鋼構造物の座屈に関する諸問題 2013』の検討テーマとして抽出した 13 テーマに関し 2011 年大会で PD での意見を反映し、出版用原稿を執筆完了。 2012 年 10 月までに小委員会、運営委員会の査読を完了し、現在構造本委員会の査読意見に対応中。今年度内に脱稿し、2013 年 6 月に出版、講習会を開催予定。
委員会活動の問題点・課題	1. 委員が日本各地に散在しているため、交通費がかかる。このため普段は各委員で検討を進め、年 3～4 回に集約して集中的に審議を行っている。 2. テーマの検討には実験等の費用も発生するため、委員各自の外部資金獲得努力が必要となる。